

保健研究部

大阪市立幼稚園51園の養護教諭で構成している研究組織です。子どもたちの健やかな成長を願い、討議会や情報交換を通して資質向上に努めています

令和6・7年度 研究主題

生命(いのち)の安全教育を通して、
自分の体に関心をもち大切にしようとする心を育む



★保護者啓発について

保護者から「興味はあるが、何から始めていいかわからない」という声があったこと、幼稚園だけでなく、家庭での継続した取組が必要と考えたことから、保護者啓発を実施しました。

保護者啓発の内容を話し合い、「生命(いのち)の安全教育について」、「プライベートパーツについて」、「心の健康について」、「体を大切にすること・家庭との連携」の4つの観点から内容を考え、作成しました。

スライドの内容を紹介します！



○生命(いのち)の安全教育とは？

内容(抜粋)

文部科学省が推進している生命(いのち)の安全教育の内容や幼児期のねらいなどを知らせました。

自分を大切にできる気持ちをもつことで、相手を思いやる気持ちが育つこと、その育ちが小・中学校の生命(いのち)の安全教育へつながっていくことを伝えました。



幼児期のねらい

幼児の発達段階に応じて自分と相手の体を大切にできるようにしていく



○プライベートパーツについて

内容(抜粋)

保健指導で使用した絵本を実際に読むことで、プライベートパーツとは水着で隠れる場所と口であることを分かりやすく伝えました。

また、体重測定時やプール時の着替えへの配慮やパーテーションの使用例など、幼稚園でのプライベートパーツに配慮した取組内容を紹介しました。

プライベートパーツとは…
水着で隠れるところ+口です

幼稚園での取り組み

- ・着替え(衣服が濡れた時など)の時にパーテーションを用意し、周りから見えないように配慮をしている。
- ・体重測定時、今までは上半身裸での測定であったが、肌着等を脱がないことにしている。



○心の健康について

内容（抜粋）

性に関する内容だけでなく、自分を大切に思う気持ちや相手を思いやる気持ちを育むことも大切であることを伝えました。

また、言葉遣いによって相手が嬉しい気持ちにも悲しい気持ちにもなることを知らせるため、幼児に〈ふわふわ言葉・ちくちく言葉〉の保健指導を実施し、その内容を保護者に伝えました。

幼児期における心の健康



自分を大切に、自分の気持ちを伝える力をつける

他者を大事にする気持ちをもつ



○体を大切にすること・家庭との連携

内容（抜粋）

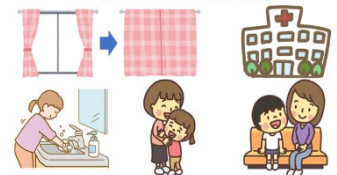
「自分の体を大切にすること」は、プライベートパーツに配慮することだけでなく、基本的な生活習慣を身に付けることも含まれます。

そこで、〈着替えのときはカーテンを閉める〉・〈手洗いうがい〉など、家庭でも取り組める内容を知らせるとともに、幼稚園と家庭とで連携して生命（いのち）の安全教育に取り組んでいく大切さを伝えました。

家庭での生命の安全教育



こんなことも生命の安全教育！



★保護者啓発を受けた保護者の感想（原文のまま）

心と体、両方を大切にすることが生命（いのち）の安全教育だと知りました。

絵本を買ってみようと思います！

ちくちく言葉を親が使ってしまっているので、言い換え出来るよう心がけていきます。

プールに連れて行ったときにもプライベートパーツを隠そうねと伝えたいです。

学んだこと

「ちくちく言葉を言い換えていきたい」「心と体両方を大切にすることが生命（いのち）の安全教育だと知った」などの感想があったことから、生命（いのち）の安全教育は、体を大切にするだけでなく心の健康や相手を思いやる気持ちも含まれていることが多くの保護者に伝わり、理解を深めたことが分かりました。

また、幼稚園で実施した保健指導の内容や家庭でも取り組める内容を伝えたことで、幼児と保護者が生命（いのち）の安全教育の話をするきっかけとなり、効果的な保護者啓発となったと思います。

今後も園と家庭で連携し、実態に応じた指導や定期的な保護者啓発を継続していきたいです。

